

鶴の舞橋大規模改修工事が スタートしました！



鶴の舞橋概要

津軽富士見湖の愛称で親しまれている「廻堰大溜池」は、約360年前、津軽藩主の命により新田開発の貴重な用水源として造られ、その堤防は日本一の長さ（4.2km）を誇り、農林水産省の「ため池百選」にも選定されています。そんな廻堰大溜池に架かる鶴の舞橋は、平成3年から3年間の工期で施工され、平成6年7月8日に完成しました。「鶴の舞橋」の名称は完成にあわせて公募により命名されました。

鶴の舞橋は、全長300mで木造の三連太鼓橋として日本一の長さを誇り、周辺の自然環境や景観と調和する造りとなっています。橋の途中には、100m間隔で大小2つのステージが設けられており、これらのステージは雄と雌の鶴のつがいをイメージして造られ、遠くから眺めるとつがいの鶴が仲睦まじく空を舞っている姿に見えるとも言われています。

施設概要

名称	鶴の舞橋
長さ	300メートル
幅	3メートル
使用材料	青森県産「ひば」1等材 丸太3000本、板材3000枚
最も高い所	湖底面より8メートル
中間2箇所の休憩所	大ステージ：10m×21m 小ステージ：9m×9m
親柱	直径 60 cm（樹齢 400 年以上）
開通	平成6年7月8日
住所	北津軽郡鶴田町廻堰大沢81-150

改修工事を行う理由

「鶴の舞橋」は定期的な修繕を行ってきましたが、供用開始から30年近くが経過し、木材の傷みによる欠損などが見られるようになったことから、橋脚の補強や床板・高欄の交換による橋の長寿命化を図るため、大規模改修工事を実施する運びとなりました。



工事概要



鶴の舞橋の第1径間、第2径間、第3径間（総延長距離300m）および小ステージ、大ステージの改修工事

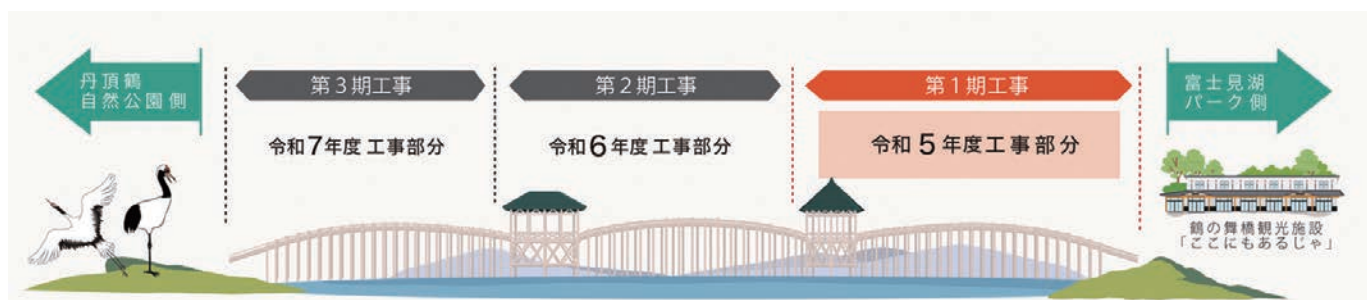
第1期
鶴の舞橋 通行止め期間

【令和5年】
9月1日



【令和6年】
3月31日まで

通行可能期間
令和6年4月1日～8月31日まで



第2期
通行止め期間

【令和6年】 【令和7年】
9月1日～3月31日まで
▶令和7年4月1日～8月31日の期間は通行可

第3期
通行止め期間

【令和7年】 【令和8年】
9月1日～3月31日まで
▶令和8年4月1日～通行可

1

橋脚は既存のまま使用しますが、劣化した部分の木材を交換後、腐食剤の塗布を施します。
新たに、木橋の長寿命化を目的とした木材腐食防止用の銅板およびパッキンを設置（既存の橋には未設置）します。

2

床板以外の主桁・高欄・筋交い等の部分には、県産のヒバ材を使用します。
劣化しやすい床板は、今後の維持管理のしやすさなどを考慮し、防腐処理を施した県産のスギ材に張り替えます。

3

現在、親柱には照明器具が埋め込まれており、夜になるとライトアップされた優雅な橋の姿が湖面に映し出されるようになっています。その照明110基を長寿命で省エネなLED照明に交換します。

短い施工期間で終わるための工夫

床板・高欄のユニット化

現場施工期間が限られるため、本来は現場で組み立てる複雑な構造の床板や高欄の部材を工場で組み立てて（ユニット化）現場搬入します。これにより、現場での作業量が大幅に軽減でき、施工期間の短縮につながります。

現場施工期間

毎年9月～12月

廻堰大溜池がかんがい※を終え、翌年に向けて貯水を始めるまでの間しか工事ができません。

※かんがい…農地へ水を人工的に供給すること

改修工事の工程

木材の加工
▼
橋の解体
▼
新設する橋の組立
▼
調整

実寸大模型の製作

今回の工事は、木橋の改修工事では珍しいユニット化した部材を持ち込む現場施工となるため、床板・高欄をユニット化することの実効性検証を目的に、約10mの実寸大模型を実際に製作し、課題などを洗い出した上で改修工事に臨んでいます。

特設サイトで最新の工事の進捗状況がわかる！



要チェック!!

工事特設サイト

工事の
進捗状況が
わかる

